

選択B：話すA（議論）

【時間・コマ数】

週1日、全16コマ（1コマ50分）

【クラス人数・クラス数】

5人～7人、全1～2クラス（選択）

【到達目標】

- ・発表に必要な表現などを正確に発音できる
- ・発表に必要な表現などを使い、議論や話し合いをすることができる
- ・発表に必要な表現などを使い、議論や話し合いを回すことができる
- ・敵対的にならずに、建設的な議論や話し合いができる

【授業概要】

1コマ目

- ・教材①などを使い、発音・イントネーション練習
- ・教材②を使い、表現練習
- ・本日のテーマについて、調べてきたことを発表（一人3-5分くらい）、ペアワーク

2コマ目

- ・本日のテーマの話し合い
- ・担当者1名。担当者が司会を行い、議論を進める。

【授業テーマ・内容】

- ・国公立大推薦入試の小論文出題テーマ、留学生試験の小論文テーマ
- ・日本ディベート協会のテーマ
- ・時事問題

【教材】

- ①『さらに進んだスピーチ・プレゼンのための日本語発音練習帳』ひつじ書房
- ②「洗練された会話のための表現集」IUC自作教材 など

【その他】

- ・本日のテーマのについて調べてくる
- ・授業終了後、担当者は意見文を提出（400字程度）

選択 B：話す（会話）

【時間・コマ数】

週 1 回、全 14 コマ（1 コマ 50 分）

【クラス人数】

5 人～7 人、全 1～2 クラス（選択）

【到達目標】

- ・ より自然なイントネーションで話すことができる
- ・ 事実を述べるだけでなく、表現力豊かに話すことができる
- ・ 自分の話し方を自覚し、必要であれば直すことができる
- ・ 2 分間で話す感覚を身に付ける

【授業の概要】

0. 宿題：前回の授業内話した発話の録音を聞き、文字化、分析をしてくる
1. イントネーション練習
2. 宿題の確認
(自分の話し方について気付いたこと、その日使ってみたい表現・単語・文法の発表)
3. 単語・文法導入
4. 話の構成について全員で検討
5. 宿題と同じテーマでもう一度話す
6. テーマを少し変えて話す練習
7. 次回のテーマについてペアで話す（録音）

※授業内の発話練習はすべて 2 分間で行う

【授業で扱ったテーマ】

印象に残る自己紹介、何かを始めたきっかけ、グラフの読み方、ニュースを伝える、ストーリーを伝える、身体の動きを伝える、雰囲気伝える

【教材】

中川千恵子・木原郁子・赤木浩文・篠原亜紀(2017)『伝わる発音が身につく！にほんご話し方トレーニング中上級レベル』アスク出版

荻原稚佳子・増田真佐子・齊藤眞理子・伊藤とく美(2005)『日本語上級話者への道 きちんと伝える技術と表現』スリーエーネットワーク

